科目ナンバリングコード

リハビリテーション学部　　リハビリテーション概論＝Rb19

R	a	01
学部区分	分野種別	ナンバー
R＝リハビリテーション学部	a：教養科目	
	b：専門基礎科目	
	c：理学療法学専門科目	
	d：作業療法学専門科目	

科目ナンバリング（2020年度　リハビリテーション学部カリキュラム）

ナンバリング	授業科目の名称	授業数	配当年次	配当期間	単位数	履修区分	教育目標							ディプロマポリシー									
							「他者を理解できる暖かこころ」を育む	「絶えざる自己変革」に努める資質	「豊かな教養」を自己のうちに育む	「国際性」を幅広く涵養する	「着実な専門能力」を身に付ける	「創造性」を磨く	「強靭な実践力」を身に付ける	【DP知識・理解P0共通】人の尊厳と個人、文化、社会の多様性についての幅広い知識を基に、リハビリテーションの概念を理解している。	【DP知識・理解PT】保健・医療・福祉領域における身体的・社会的問題に対応できる高度な専門的知識を修得している。	【DP知識・理解OT】保健・医療・福祉領域における社会生活機能に関する問題に対応できる高度な専門的知識を修得している。	【DP汎用性技能P0共通】高いコミュニケーション能力を持って多様な人々と関わることで世界観を確立できる。	【DP汎用性技能PT】障がい構造を科学的、論理的に解釈し、多様な社会的要請に対応した理学療法を立案・実践できる。	【DP汎用性技能OT】生活・障がいを科学的に分析・評価し、作業療法学的視点から高度な治療・支援ができる。	【DP態度・志向性P0共通①】報謝の至誠のもと自己研鑽に励み、他者に方向性を示すことができる。	【DP態度・志向性P0共通②】保健・医療・福祉領域に関する調査・研究に取組み、その成果を持って文化を創造できる。	【DP態度・志向性PT】理学療法士として社会的役割と責任を自覚し、高度な知識と技術を持って他職種と協働できる。	【DP態度・志向性OT】作業療法士として社会的規範に従い行動し、高度な知識と技術を持って対象者および社会に貢献できる。
Ra01	科学的思考	16	1	前	2	選択	○	○	○					○			○			○			
Ra02	生命と科学	16	1	後	2	選択	○	○	○					○			○			○			
Ra03	生活と化学	16	2	前	2	選択	○	○	○					○			○			○			
Ra04	社会と数学	16	1	後	2	選択	○	○	○					○			○			○			
Ra05	情報処理演習	16	1	前	1	必修	○	○	○					○			○			○			
Ra06	文化教養ゼミⅠ	16	1	前	1	必修	○	○	○					○			○			○			
Ra07	文化教養ゼミⅡ	16	1	後	1	必修	○	○	○					○			○			○			
Ra08	英語Ⅰ	16	1	前	1	必修				○				○			○			○			
Ra09	英語Ⅱ	16	1	後	1	必修				○				○			○			○			
Ra10	英文講読	16	2	後	1	必修				○				○			○			○			
Ra11	倫理学	16	1	後	2	選択	○	○	○					○			○			○			
Ra12	哲学	16	1	前	2	選択	○	○	○					○			○			○			
Ra13	異文化コミュニケーション	16	1	前	2	選択				○				○			○			○			
Ra14	教育学	16	2	後	2	必修	○	○	○					○			○			○			
Ra15	保健科学	16	1	前	2	選択	○	○	○					○			○			○			
Ra16	体の仕組みと病気	16	2	前	2	選択	○	○	○					○			○			○			
Ra17	スポーツⅠ	16	1	後	1	選択	○	○	○					○			○			○			
Ra18	スポーツⅡ	16	2	前	1	選択	○	○	○					○			○			○			
Ra19	人間関係・コミュニケーション論	16	1	後	2	必修	○	○	○					○			○			○			
Ra20	世界ことばの旅	16	1	前	2	選択				○				○			○			○			
Ra21	文化人類学	16	1	後	2	選択	○	○	○					○			○			○			
Ra22	地域文化論	16	1	前	2	選択	○	○	○					○			○			○			
Ra23	政治学	16	1	後	2	選択	○	○	○					○			○			○			
Ra24	社会学	16	1	前	2	選択	○	○	○					○			○			○			
Rb01	人間発達学	16	1	後	2	必修					○				○	○							
Rb02	心理学	16	1	前	2	必修					○				○	○							
Rb03	臨床心理学	16	2	後	2	必修					○				○	○							
Rb04	解剖学Ⅰ	32	1	前	2	必修					○				○	○							
Rb05	解剖学Ⅱ	16	1	後	1	必修					○				○	○							
Rb06	解剖学実習	24	1	後	1	必修					○				○	○							
Rb07	生理学Ⅰ	32	1	前	2	必修					○				○	○							
Rb08	生理学Ⅱ	16	1	後	1	必修					○				○	○							
Rb09	生理学実習	24	1	前	1	必修					○				○	○							
Rb10	病理学	16	2	後	2	必修					○				○	○							
Rb11	リハビリテーション医学	16	2	後	2	必修					○				○	○							
Rb12	総合リハビリテーション学	24	3	前	2	必修					○				○	○							
Rb13	リハビリテーション臨床検査診断	16	3	後	2	必修					○				○	○							
Rb14	内科学	24	2	前	2	必修					○				○	○							
Rb15	整形外科学	24	2	前	2	必修					○				○	○							
Rb16	神経病学	24	2	前	2	必修					○				○	○							
Rb17	小児科学概論	8	2	後	1	必修					○				○	○							
Rb18	精神医学	24	2	前	2	必修					○				○	○							

科目ナンバリング（2020年度　リハビリテーション学部カリキュラム）

ナンバリング	授業科目の名称	授業数	配当年次	配当期間	単位数	履修区分	教育目標							ディプロマポリシー									
							「他者を理解できる暖かこころ」を育む	「絶えざる自己変革」に努める資質	「豊かな教養」を自己のうちに育む	「国際性」を幅広く涵養する	「着実な専門能力」を身に付ける	「創造性」を磨く	「強靭な実践力」を身に付ける	【DP知識・理解P0共通】人の尊厳と個人、文化、社会の多様性についての幅広い知識を基に、リハビリテーションの概念を理解している。	【DP知識・理解PT】保健・医療・福祉領域における身体的・社会的問題に対応できる高度な専門的知識を修得している。	【DP知識・理解OT】保健・医療・福祉領域における社会生活機能に関する問題に対応できる高度な専門的知識を修得している。	【DP汎用性技能P0共通】高いコミュニケーション能力を持って多様な人々と関わることで世界観を確立できる。	【DP汎用性技能PT】障がい構造を科学的、論理的に解釈し、多様な社会的要請に対応した理学療法を立案・実践できる。	【DP汎用性技能OT】生活・障がいを科学的に分析・評価し、作業療法学的視点から高度な治療・支援ができる。	【DP態度・志向性P0共通①】報謝の至誠のもと自己研鑽に励み、他者に方向性を示すことができる。	【DP態度・志向性P0共通②】保健・医療・福祉領域に関する調査・研究に取組み、その成果を持って文化を創造できる。	【DP態度・志向性PT】理学療法士として社会的役割と責任を自覚し、高度な知識と技術を持って他職種と協働できる。	【DP態度・志向性OT】作業療法士として社会的規範に従い行動し、高度な知識と技術を持って対象者および社会に貢献できる。
Rb19	リハビリテーション概論	16	1	前	2	必修					○			○									
Rb20	医療学入門	8	1	前	1	必修					○				○	○							
Rb21	保健福祉学	8	2	後	1	必修					○				○	○							
Rb22	公衆衛生学	8	2	後	1	必修					○				○	○							
Rc01	理学療法学概論	16	1	後	2	必修					○			○	○								
Rc02	理学療法学研究法	16	3	前	1	必修					○	○			○								
Rc03	理学療法学研究法演習	16	3	後	1	必修						○	○								○		
Rc04	理学療法学研究法特論	32	4	後	2	必修						○	○								○		
Rc05	運動学Ⅰ	16	1	後	1	必修					○				○								
Rc06	運動学Ⅱ	32	2	前	2	必修					○				○								
Rc07	理学療法管理学概論	8	3	後	1	必修					○				○								
Rc08	医療管理学入門	8	1	前	1	必修					○				○								
Rc09	理学療法評価診断学	16	2	前	2	必修					○				○								
Rc10	理学療法評価診断学演習	16	2	後	1	必修					○							○					
Rc11	理学療法評価診断学実習	22	3	前	1	必修					○							○					
Rc12	神経症候学演習	24	2	後	1	必修					○							○					
Rc13	病態運動分析学	16	3	後	1	必修					○				○								
Rc14	体表解剖学演習	16	1	後	1	必修					○							○					
Rc15	日常生活活動学	16	2	前	2	必修					○				○								
Rc16	日常生活活動学実習	24	2	後	1	必修					○							○					
Rc17	運動療法学概論	16	2	前	2	必修					○				○								
Rc18	義肢装具学	16	2	後	2	必修					○				○								
Rc19	義肢装具学実習	24	3	前	1	必修					○							○					
Rc20	物理療法学	16	2	後	2	必修					○				○								
Rc21	物理療法学実習	24	3	前	1	必修					○							○					
Rc22	運動器障害理学療法学	16	2	後	2	必修					○				○								
Rc23	運動器障害理学療法学実習	24	3	後	1	必修					○	○						○					
Rc24	神経筋障害理学療法学	16	3	前	2	必修					○				○								
Rc25	神経筋理学療法学実習	24	3	後	1	必修					○	○						○					
Rc26	内部障害理学療法学	16	3	前	2	必修					○				○								
Rc27	内部障害理学療法学実習	24	3	後	1	必修					○	○						○					
Rc28	発達障害理学療法学演習	24	3	後	1	必修					○							○					
Rc29	理学療法総合技術演習Ⅰ	16	3	前	1	必修					○	○						○					
Rc30	理学療法総合技術演習Ⅱ	16	3	後	1	必修					○	○						○					
Rc31	理学療法安全管理論	8	3	後	1	必修					○				○								
Rc32	理学療法学セミナー	16	4	後	1	必修					○				○								
Rc33	老年期障害理学療法学	16	3	後	2	必修					○				○								
Rc34	老年期障害理学療法学演習	8	3	前	1	必修					○	○						○					
Rc35	地域理学療法学	16	3	前	2	必修					○				○								
Rc36	日常生活環境学	16	3	前	2	必修					○				○								
Rc37	臨床実習Ⅰ	22	1	後	1	必修					○	○					○						
Rc38	臨床実習Ⅱ－1	90	3	後	4	必修						○	○				○					○	

科目ナンバリング（2020年度　リハビリテーション学部カリキュラム）

ナンバリング	授業科目の名称	授業数	配当年次	配当期間	単位数	履修区分	教育目標							ディプロマポリシー									
							「他者を理解できる暖かこころ」を育む	「絶えざる自己変革」に努める資質	「豊かな教養」を自己のうちに育む	「国際性」を幅広く涵養する	「着実な専門能力」を身に付ける	「創造性」を磨く	「強靭な実践力」を身に付ける	【DP知識・理解P0共通】人の尊厳と個人、文化、社会の多様性についての幅広い知識を基に、リハビリテーションの概念を理解している。	【DP知識・理解PT】保健・医療・福祉領域における身体的・社会的問題に対応できる高度な専門的知識を修得している。	【DP知識・理解OT】保健・医療・福祉領域における社会生活機能に関する問題に対応できる高度な専門的知識を修得している。	【DP汎用性技能P0共通】高いコミュニケーション能力を持って多様な人々と関わることで世界観を確立できる。	【DP汎用性技能PT】障がい構造を科学的、論理的に解釈し、多様な社会的要請に対応した理学療法を立案・実践できる。	【DP汎用性技能OT】生活・障がいを科学的に分析・評価し、作業療法学的視点から高度な治療・支援ができる。	【DP態度・志向性P0共通①】報謝の至誠のもと自己研鑽に励み、他者に方向性を示すことができる。	【DP態度・志向性P0共通②】保健・医療・福祉領域に関する調査・研究に取組み、その成果を持って文化を創造できる。	【DP態度・志向性PT】理学療法士として社会的役割と責任を自覚し、高度な知識と技術を持って他職種と協働できる。	【DP態度・志向性OT】作業療法士として社会的規範に従い行動し、高度な知識と技術を持って対象者および社会に貢献できる。
Rc39	臨床実習Ⅱ－2	22	3	後	1	必修						○	○				○						
Rc40	臨床実習Ⅲ－1	180	4	前	8	必修						○	○				○					○	
Rc41	臨床実習Ⅲ－2	180	4	前	8	必修						○	○				○					○	
Rd01	作業療法学概論	16	1	後	2	必修					○			○		○							
Rd02	作業療法学研究法	16	3	前	1	必修					○	○				○							
Rd03	作業療法学研究法演習	16	3	後	1	必修						○	○								○		
Rd04	作業療法学研究法特論	32	4	後	2	必修						○	○								○		
Rd05	運動学Ⅰ	16	1	後	1	必修					○					○							
Rd06	運動学Ⅱ	32	2	前	2	必修					○					○							
Rd07	作業療法管理学概論	8	3	前	1	必修	○				○					○							
Rd08	医療管理学	8	1	前	1	必修	○				○					○							
Rd09	作業療法評価学	16	2	前	2	必修					○					○							
Rd10	作業療法評価学実習	24	2	後	1	必修					○								○				
Rd11	作業療法総合技術演習	16	3	後	1	必修					○	○							○				
Rd12	体表解剖学演習	16	1	後	1	必修					○								○				
Rd13	基礎作業学	16	2	前	2	必修					○					○							
Rd14	基礎作業学実習	24	2	後	1	必修					○								○				
Rd15	身体障害作業療法学Ⅰ	16	3	前	2	必修					○					○							
Rd16	身体障害作業療法学Ⅱ	16	3	前	2	必修					○					○							
Rd17	身体障害作業療法学実習	24	3	後	1	必修					○	○							○				
Rd18	精神障害作業療法学Ⅰ	16	2	後	2	必修					○					○							
Rd19	精神障害作業療法学Ⅱ	16	3	前	2	必修					○					○							
Rd20	精神障害作業療法学実習	24	3	後	1	必修					○	○							○				
Rd21	発達障害作業療法学	16	2	後	2	必修					○					○							
Rd22	発達障害作業療法学演習	16	3	前	1	必修					○	○							○				
Rd23	老年期障害作業療法学	16	2	後	2	必修					○					○							
Rd24	高次脳機能障害作業療法学	16	3	前	2	必修					○					○							
Rd25	高次脳機能障害作業療法学演習	16	3	後	1	必修					○	○							○				
Rd26	義肢装具学実習	16	3	前	1	必修					○								○				
Rd27	日常生活活動学	16	2	後	2	必修					○					○							
Rd28	日常生活活動学実習	24	3	前	1	必修					○								○				
Rd29	作業療法学セミナー	16	4	後	1	必修					○					○							
Rd30	作業療法学特論Ⅰ	8	3	後	1	選択					○					○							
Rd31	作業療法学特論Ⅱ	8	3	後	1	選択					○					○							
Rd32	作業療法学特論Ⅲ	8	3	後	1	選択					○					○							
Rd33	作業療法学特論Ⅳ	8	3	後	1	選択					○					○							
Rd34	地域作業療法学	16	3	前	2	必修					○					○							
Rd35	地域作業療法学演習	16	3	後	1	必修					○	○					○						
Rd36	地域リハビリテーション演習	16	2	後	1	必修					○	○					○		○				
Rd37	日常生活環境学	16	3	前	2	必修					○					○							
Rd38	臨床実習Ⅰ-1	22	1	後	1	必修					○	○					○						
Rd39	臨床実習Ⅰ-2	22	2	後	1	必修						○	○				○						

科目ナンバリング（2020年度　リハビリテーション学部カリキュラム）

ナンバリング	授業科目の名称	授業数	配当年次	配当期間	単位数	履修区分	教育目標							ディプロマポリシー									
							「他者を理解できる暖かこころ」を育む	「絶えざる自己変革」に努める資質	「豊かな教養」を自己のうちに育む	「国際性」を幅広く涵養する	「着実な専門能力」を身に付ける	「創造性」を磨く	「強靭な実践力」を身に付ける	【DP知識・理解P0共通】人の尊厳と個人、文化、社会の多様性についての幅広い知識を基に、リハビリテーションの概念を理解している。	【DP知識・理解PT】保健・医療・福祉領域における身体的・社会的問題に対応できる高度な専門的知識を修得している。	【DP知識・理解OT】保健・医療・福祉領域における社会生活機能に関する問題に対応できる高度な専門的知識を修得している。	【DP汎用性技能P0共通】高いコミュニケーション能力を持って多様な人々と関わることで世界観を確立できる。	【DP汎用性技能PT】障がい構造を科学的、論理的に解釈し、多様な社会的要請に対応した理学療法を立案・実践できる。	【DP汎用性技能OT】生活・障がいを科学的に分析・評価し、作業療法学的視点から高度な治療・支援ができる。	【DP態度・志向性P0共通①】報謝の至誠のもと自己研鑽に励み、他者に方向性を示すことができる。	【DP態度・志向性P0共通②】保健・医療・福祉領域に関する調査・研究に取組み、その成果を持って文化を創造できる。	【DP態度・志向性PT】理学療法士として社会的役割と責任を自覚し、高度な知識と技術を持って他職種と協働できる。	【DP態度・志向性OT】作業療法士として社会的規範に従い行動し、高度な知識と技術を持って対象者および社会に貢献できる。
Rd40	臨床実習Ⅱ	90	3	後	4	必修						○	○				○						○
Rd41	臨床実習Ⅲ－1	180	4	前	8	必修						○	○				○						○
Rd42	臨床実習Ⅲ－2	180	4	前	8	必修						○	○				○						○